

茨城県

茨城県退職校長会

設立 昭和40年3月13日

本会は小・中学校、高等学校、特別支援学校等の退職校長を構成員として、会員の親睦と福祉の増進を図り、教育尊重の実をあげ、本県教育の振興に寄与することを目的に活動してきた。昨年度より定年制の変更により満60歳で役職定年をした者も会員に迎え入れている。

創立60周年に当たる記念総会（R 6. 5. 17）では会の目的実現のため、次の宣言文を採択し、今後の活動のあり方を確認し、その実現を誓い合った。



教育支援活動の様子

- 1 各事業に積極的に参加し、会員同志の親睦を深め強い絆をつくれます。
- 2 教育支援や社会貢献活動を積極的に推進し、生きがいと健康づくりに努めます。
- 3 教育諸条件の整備と教育振興施策の充実を促します。

1 会員数・役員・組織

(1) 会員数 2,715人（令和6年5月現在）

(2) 役員・組織

・役員 会長・副会長（7人）、常任理事（13人）

・組織 本部 総務部、組織部、教育振興部、教育支援部、生涯学習部、広報部

支部 5ブロック35支部

2 特色ある活動

(1) 教育支援活動

60周年を記念して教育支援活動を重点的に行い、成功裏に終了した。その成果は「教育支援活動報告書」として令和6年度に発刊され、今後の退職校長会活動の方向性を示した。また活動により、現職の校長を始め、教職員に本会の存在とその意義を認知させることが出来た。学校が期待する支援活動を探るため、県内全校に対するアンケート調査を実施し、会員と学校のよりよいマッチングを図るよう努力している。

(2) 生涯学習実践発表会

会員が行っている生涯学習の成果を発表しあい、会員同志が研修しあえる機会を作っている。会場は水戸市で行い、運営は県内5ブロックが行う。毎年各支部から150人程の会員が参加する。極めてレベルが高く専門的な研究もあり、会員のよき刺激になっている。